

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-232770

(43)Date of publication of application : 05.09.1995

(51)Int.Cl.

B65D 81/36

G03B 35/00

(21)Application number : 06-040479

(71)Applicant : THINK LAB KK

(22)Date of filing : 15.02.1994

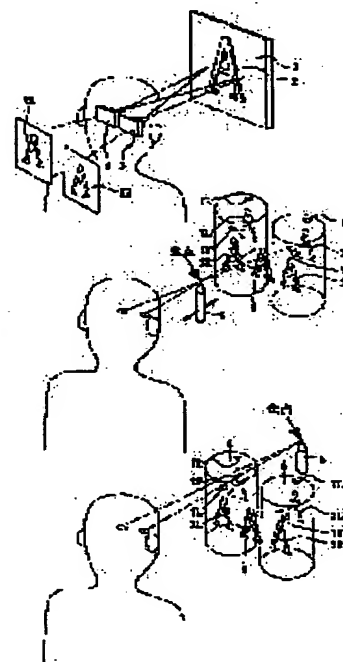
(72)Inventor : SHIGETA TATSUO

(54) COMMODITY PROVIDED WITH CONTAINER HAVING PRINTED IMAGE THAT CAN BE SEEN AS STEREOGRAM

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a container which has images printed on the front and rear outside faces or the front and side outside faces of the container and also an instruction to let a user understand which image corresponds to the right eye or the left eye so that the user is able to see the images as a stereogram.

CONSTITUTION: Assuming that a subject 1 is placed in front of a face at a distance of about 40cm, a camera 3 is positioned at a location corresponding to a right eye and a pattern 2 indicated on the subject 1 is taken to obtain an image 2R corresponding to the right eye. A camera 4 is positioned at a location corresponding to a left eye and the pattern 2 indicated on the subject 1 is taken to obtain an image 2L corresponding to the left eye. An instruction is indicated on a can to let a user understand that one photographic image 2R between a pair of photographic images 2R and 2L is taken at the position corresponding to the right eye and the other one 2L is taken at the position corresponding to the left eye. Thereby, the user is able to see a stereogram S in intersection method or parallel method.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-232770

(43) 公開日 平成7年(1995)9月5日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 81/36	A			
G 0 3 B 35/00	Z			

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-40479

(22) 出願日 平成6年(1994)2月15日

(71) 出願人 000131625

株式会社シンク・ラボラトリー

千葉県柏市高田1201-11

(72) 発明者 重田 龍男

千葉県柏市十余二字梅林610-1 株式会

社シンク・ラボラトリー内

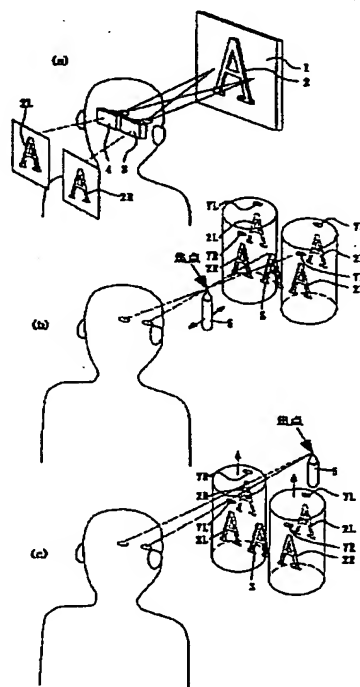
(74) 代理人 弁理士 大沼 浩司

(54) 【発明の名称】 ステレオグラムが見られる画像が印刷された容器を備えた商品

(57) 【要約】

【目的】 容器の外面に右目で見たときと左目で見たときの位相差が付けられた一对の写真画像もしくはコンピュータ画像が印刷されていて、二つの容器を左右に並べ左右を入替えて交差法と平行法のいずれによりステレオグラムが見えるかを楽しむことができる、ステレオグラムが見られる画像が印刷された容器を備えた商品。

【構成】 右目で見たときと左目で見たときとで生じる位相差が付けられていることにより、交差法と平行法のいずれかによりステレオグラムが見ることができる一对の写真画像もしくはコンピュータ画像 2 R, 2 L を、瓶、罐、紙コップ等の容器の外面に正面と背面もしくは正面と側面の配置となるように印刷し、さらに右目相当画像 2 R には右目相当であることが分かる適宜の表示 7 R を、また左目相当画像 2 L には左目相当であることが分かる適宜の表示 7 L を併記した。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 略同一な一对の写真画像もしくはコンピュータ画像であって、顔から所要距離を離れさせて左右に並べかつ左右の間隔を適宜に調整したとき、一对の画像間に右目で見たときと左目で見たときとで生じる位相差が付けられていることにより、交差法と平行法のいずれかによりステレオグラムが見ることができる前記一对の写真画像もしくはコンピュータ画像が、瓶、罐、紙コップ等の容器の外面に正面と背面もしくは正面と側面の配置となるように印刷され、かつ前記右目相当画像には右目相当であることが分かる適宜の表示が、また前記左目相当画像には左目相当であることが分かる適宜の表示が併記されていることを特徴とする、ステレオグラムが見られる画像が印刷された容器を備えた商品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、瓶、罐、紙コップ等の容器の外面に右目で見たときと左目で見たときの位相差が付けられた一对の写真画像もしくはコンピュータ画像が印刷されていて、二つの容器を左右に並べ左右を入替えて交差法と平行法のいずれによりステレオグラムが見えるかを楽しむことができる、ステレオグラムが見られる画像が印刷された容器を備えた商品に関する。

【0002】

【従来の技術】 図 2 は、ステレオグラムが見ることができる交差法と平行法を説明する図である。(a) は、顔 F の正面から約四十センチメートル離れた所に被写体 1 を置いたものとして、右目に相当する位置にカメラ 3 を位置させて前記被写体 1 に表示された図形 2 を撮影して右目相当画像 2 R を得るとともに、左目に相当する位置にカメラ 4 を位置させて前記被写体 1 に表示された図形 2 を撮影して左目相当画像 2 L を得ることを示している。このようにして作成された一对の写真画像は、略同一な一对の写真画像であり一对の画像間には右目で見たときと左目で見たときとで生じる位相差が付けられていることになる。このように右目で見たときと左目で見たときとで生じる位相差が付けられる一对の画像は、コンピュータ画像においても容易に作成でき、コンピュータグラフィックス・ステレオグラムと称され有名なデザイナーの作品を寄せ集めた作品集が販売され広く知られている。(b) は、ステレオグラムが見ることができる交差法を示している。ステレオグラムが見ようとする人から見て、約四十センチメートル離れた所に右目相当画像 2 R を左側、左目相当画像 2 L を右側に配置してから、先ず両眼を寄り目にして焦点を画像よりも近くにしかつ通常は一方の側が強い右目と左目の強さを意識的に均等になるようにコントロールして、右目で、左側の右目相当画像 2 R と右側の左目相当画像 2 L を見るとともに、左目で、左側の右目相当画像 2 R と右側の左目相当画像 2 L を見る。そうして、四つの画像が見える状態を維持

して、画像に対して相対的に顔を近づけたり離したりするとともに左右の写真画像 2 R, 2 L の間隔を調整して、右目で見える左側の右目相当画像 2 R と、左目で見える右側の左目相当画像 2 L とが重なるようにすると、画像の数は三つになり、中央の画像は、鮮明となって立体的に浮き出て見えるステレオグラム S である。これが、交差法で見ることができるステレオグラムである。

(c) と (d) は、交差法でステレオグラムが見ることができる手法をしており、(c) は、右目相当画像と左目相当画像を表示したパネル P を顔から五センチメートル位の近づけて両眼を寄り目にしてからパネル P を離れさせていくことでステレオグラムを見ようとするものであり、(d) は、右目相当画像と左目相当画像を表示したパネル P を顔から約四十センチメートル位の位置に離れさせておいて、鉛筆 5 の先端を顔から五～十五センチメートルの範囲内で前後させて両眼の焦点を鉛筆 5 の先端に併せるようにして、パネル P に表示された印刷の右目相当画像と左目相当画像のステレオグラムを見ようとするものである。(e) は、ステレオグラムが見ることができる平行法を示している。平行法は、交差法とは反対に、右目相当画像 2 R を右側、左目相当画像 2 L を左側となるように、ステレオグラムを見ようとする人から見て約四十センチメートル離れた所に配置してから、先ず顔から約六、七十センチメートル先の鉛筆の先端を見つめるようにして、両眼の焦点を遠目にしておいて、視線上鉛筆よりも所要手前に、右側の右目相当画像 2 R と左側の左目相当画像 2 L を移動し、このように両眼の焦点が先を見ているようにして該焦点よりも所要近く of 右目相当画像 2 R と左目相当画像 2 L を見ると、右目相当画像 2 R と左目相当画像 2 L の中央に、鮮明かつ浮き出た状態にステレオグラム S が見える。これが、平行法で見ることができるステレオグラムである。平行法で見ることができるステレオグラムも、交差法で見ることができるステレオグラムと同様に、四つの画像が見える状態を維持して、右目で見える左側の左目相当画像 2 L と、左目で見える右側の右目相当画像 2 R とが重なるときの中央に見える鮮明かつ立体的に浮き出て見える画像となる。(f) は、平行法でステレオグラムが見ることができる手法を示しており、顔から六～七十センチメートル離れさせた鉛筆 5 の先端を見つめて両眼の焦点を鉛筆 5 の先端に併せるようにして、パネル P を顔から約四十センチメートル位の位置に下から上昇させて、該パネル P に表示された印刷の右目相当画像と左目相当画像のステレオグラムを見ようとするものである。なお、交差法で見ることができるステレオグラムを、平行法で見ようとしたり、平行法で見ることができるステレオグラムを、交差法で見ようとする、ステレオグラムが奥に引っ込んで見えることになる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、日常におい

て誰でもが頻繁に安価に購入し得る商品の容器外面に右目で見たとときと左目で見たとときの位相差が付けられた一対の写真画像もしくはコンピュータ画像が印刷しておくことにより、誰でもが気軽に、二つの容器を左右に並べて二つの容器に印刷された一対の画像からステレオグラムが見えるかどうかを楽しむことができ、また二つの容器の左右配置を並べ変えて自分は交差法と平行法のいずれによりステレオグラムが見えるかどうかを楽しむことができ、さらにステレオグラムを楽しむには商品を二個購入する必要があるが販売促進にもつながる、ステレオグラムが見られる画像が印刷された容器を備えた商品を提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、略同一な一対の写真画像もしくはコンピュータ画像であって、顔から所要距離を離れさせて左右に並べかつ左右の間隔を適宜に調整したとき、一対の画像間に右目で見たとときと左目で見たとときとで生じる位相差が付けられていることにより、交差法と平行法のいずれかによりステレオグラムが見ることができる前記一対の写真画像もしくはコンピュータ画像が、瓶、罐、紙コップ等の容器の外面に正面と背面もしくは正面と側面の配置となるように印刷され、かつ前記右目相当画像には右目相当であることが分かる適宜の表示が、また前記左目相当画像には左目相当であることが分かる適宜の表示が併記されていることを特徴とする、ステレオグラムが見られる画像が印刷された容器を備えた商品を提供するものである。

【0005】

【作用】商品を二個購入して、一方の商品の容器に印刷された右目相当であることが分かる適宜の表示が付いた右目相当画像を顔の所要前方の左側に、また他方の商品の容器に印刷された左目相当であることが分かる適宜の表示が付いた左目相当画像を顔の所要前方の右側に両手で並べて持ち、両眼を寄り目にして焦点を画像よりも手前にしたときに右目相当画像と左目相当画像との間にステレオグラムが見ることができる人は、交差法によりステレオグラムが見ることができる人である。また、前記の右目相当画像と左目相当画像を左右配置を交替して、両眼を遠目にして焦点を画像よりも所要遠方に置いたときに右目相当画像と左目相当画像との間に第三の画像であるステレオグラムを見ることができる人は、平行法によりステレオグラムを見ることができる人である。こうして、自分が交差法と平行法の何れによりステレオグラムを見ることができるかを楽しむことができる。

【0006】

【実施例】本発明のステレオグラムが見られる画像が印刷された容器を備えた商品の実施例を、図1を参照して説明する。(a)は、図1(a)と同様に、顔Fの正面から約四十センチメートル離れた所に被写体1を置いたものとして、右目に相当する位置にカメラ3を位置させ

て前記被写体1に表示された図形2を撮影して右目相当画像2Rを得るとともに、左目に相当する位置にカメラ4を位置させて前記被写体1に表示された図形2を撮影して左目相当画像2Lを得ることを示している。このようにして作成された一対の写真画像2R、2Lは、略同一な一対の写真画像であり一対の画像間には右目で見たとときと左目で見たとときとで生じる位相差が付けられていることになる。(b)は、交差法によりステレオグラムを見ているところを示すもので、自動販売機で売られている裏表に前記一対の写真画像2R、2Lが印刷されたジュース入り罐6を二個買ってきて、左右に並べ、両眼の焦点を手前の鉛筆5の先に併せるようにして、右眼で、右側の罐6に印刷された左目相当画像2Lと左側の罐6に印刷された右目相当画像2Rを見るとともに、左眼で、右側の罐6に印刷された左目相当画像2Lと左側の罐6に印刷された右目相当画像2Rを見て、かつ、二つの罐6、6の間隔及び顔からの距離を調整して、ステレオグラムSを見ているところを示している。罐6に印刷された一対の写真画像2R、2Lの中、一方の写真画像2Rが右目相当位置で撮影されたものであることが分かる適宜の表示としてこの実施例では黒目が左に寄った片眼の図形が併記されているとともに、他方の写真画像2Lが左目相当位置で撮影されたものであることが分かる適宜の表示としてこの実施例では黒目が右に寄った片眼の図形が併記されている。従って、交差法では、ステレオグラムを見ようとする者から見て右側の罐6の黒目が左に寄った片眼の図形と左側の罐6の黒目が右に寄った片眼の図形とを選択したときにはこれら左右の片眼の図形は寄り眼になり、これは、寄り眼になってすなわち交差法によりステレオグラムSが見えることが判別できるようになっている。(c)は、平行法によりステレオグラムSを見ているところを示すもので、二個の罐6、6は(c)に示すものと同一である。平行法では、一対の写真画像2R、2Lの左右の配列が前記交差法とは逆になっている。そのことは、ステレオグラムを見ようとする者から見て右側の罐6の黒目が右に寄った片眼の図形と左側の罐6の黒目が左に寄った片眼の図形とを選択した状態となることから判るようになっている。

【0007】本発明に係る商品の容器とは瓶、罐、紙コップ等の容器であり、容器自体が商品である場合も含むものである。また本発明において、右目で見たとときと左目で見たとときとで生じる位相差を付けた一対の画像は、写真画像だけでなくコンピュータ画像が含まれる。交差法や平行法でステレオグラムが見える一対のコンピュータ画像は、例えば株式会社小学館より「CG STEREOGRAM1」「CG STEREOGRAM2」「CG STEREOGRAM3」という書籍名で三冊が販売されているので、本発明は、これらの書籍中の所望の一対のコンピュータ画像を著作権者の許諾を得て瓶、罐、紙コップ等の容器に印刷し、かつ、右目相当画像には右目相

当画像であることが分かる適宜の表示を、また前記左目相当写真画像には左目相当写真画像であることが分かる適宜の表示を併記した場合を含むものである。本発明は、右目で見たときと左目で見たときとで生じる位相差を付けた一対の写真画像やコンピュータ画像を瓶、罐、紙コップ等の容器に単に印刷したものは、ステレオグラムを楽しみたい人が二個の罐のどの画像を左右配置に並べればステレオグラムが見えるのかが良く分からず、ステレオグラムが見えたとしても交差法と平行法のいずれにより見えたのかが良く分からないことになるので、対象外である。また、本発明は、右目で見たときと左目で見たときとで生じる位相差を付けた一対の写真画像やコンピュータ画像の中、一方の画像のみを瓶、罐、紙コップ等の容器に印刷したものではない。一方の画像のみを瓶、罐、紙コップ等の容器に印刷したものでは、容器を二個並べても右目または左目で見たときの写真画像が揃うことがあってこのようなときはステレオグラムが見えない。

【0008】

【発明の効果】以上説明してきたように、本発明のステレオグラムが見られる画像が印刷された容器を備えた商品は、商品を二個購入して、一方の商品の容器に印刷された右目相当であることが分かる適宜の表示が付いた右目相当画像を顔の所要前方の左側に、また他方の商品の容器に印刷された左目相当であることが分かる適宜の表示が付いた左目相当画像を顔の所要前方の右側に両手で並べて持ち、両眼を寄り目にして焦点を画像よりも手前にしたときに右目相当画像と左目相当画像との間にステレオグラムが見ることが出来る人は、交差法によりステレオグラムが見ることが出来る人であり、また、前記の右目相当画像と左目相当画像を左右配置を交替して、両眼を遠目にして焦点を画像よりも所要遠方に置いたときに右目相当画像と左目相当画像との間に第三の画像であるステレオグラムを見ることが出来る人は、平行法によ

りステレオグラムが見ることが出来る人であり、こうして、日常において誰でもが頻繁に安価に購入し得る商品の容器外面に右目で見たときと左目で見たときの位相差が付けられた一対の写真画像もしくはコンピュータ画像が印刷しておくことにより、誰でもが気軽に、二つの容器を左右に並べて二つの容器に印刷された一対の画像からステレオグラムが見えるかどうかを楽しむことができ、また二つの容器の左右配置を並べ変えて自分は交差法と平行法のいずれによりステレオグラムが見えるかどうかを楽しむことができ、さらにステレオグラムを楽しむには商品を二個購入する必要があつて販売促進にもつなげる。

【図面の簡単な説明】

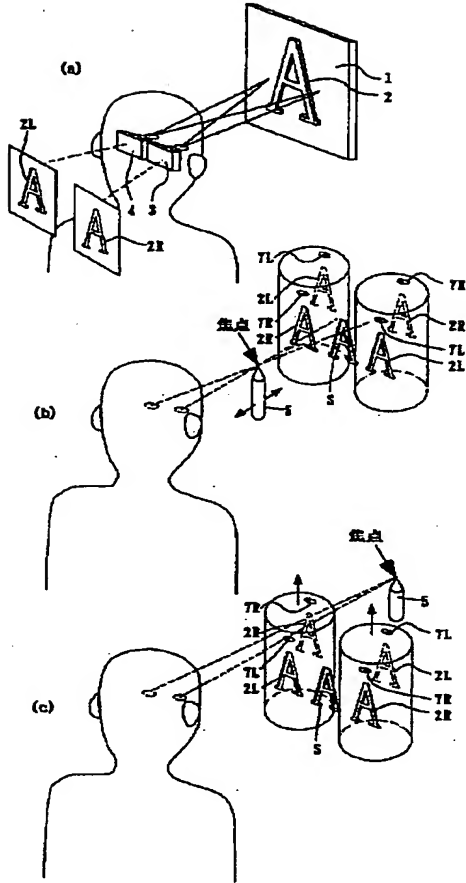
【図1】本発明のステレオグラムが見られる画像が印刷された容器を備えた商品に係り、(a)は、ステレオグラムを見ることが出来る右目相当画像と左目相当画像の撮影法を示す図、(b)は、交差法によりステレオグラムを見ているところを示す図、(c)は、平行法によりステレオグラムを見ているところを示す図。

【図2】従来のステレオグラムが見られる画像に係り、(a)ステレオグラムを見ることが出来る右目相当画像と左目相当画像の撮影法を示す図、(b)は、交差法によりステレオグラムを見ているところを示す図、(c)と(d)は、交差法によりステレオグラムが見やすい手法を示す図、(e)は、平行法によりステレオグラムを見ているところを示す図、(f)は、平行法によりステレオグラムが見やすい手法を示す図。

【符号の説明】

2R ・・・右目相当画像、
2L ・・・左目相当画像、
7R ・・・右目相当画像であることが分かる適宜の表示、
7L ・・・左目相当画像であることが分かる適宜の表示、

【図 1】



【図 2】

